小・中学校入学支援金支給プロジェクト

基本目標３　結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

■事業の課題・目的

近年のエネルギー価格や物価高騰により、生活費全般が圧迫されています。学校入学時に購入する制服やランドセル、体操着、教材なども例外ではなく、一括でかかる初期費用、いわゆる「隠れた教育費」も年々高騰している状況があります。

経済的な理由によって必要な学用品が揃えられない、あるいは体験の機会が失われるといった教育格差を防ぐため、令和８年度から新小学１年生及び新中学１年生をもつ保護者に対して入学支援金を支給しています。

入学時における子育て世帯の経済的負担を軽減し、すべての児童・生徒が平等に義務教育を受けられるようにすることを目的としています。

■事業内容



市内にお住まいで、新小学１年生及び新中学１年生の保護者（義務教育学校も含む）の方を対象に入学支援金を支給します。

支給額：児童・生徒１人につき３万円

■なぜ寄附を募るのか

これからの未来を担う子どもの可能性を広げ、地域社会を支えていく子どもの成長を豊かにすることを一番に考えながらプロジェクトに取り組んでいます。

すべての子どもが平等に義務教育を受けられることを目指して、子育て世代の経済的負担の軽減を図るプロジェクトをスタートしましたが、物価高騰の状況が続く中、継続した取り組みとする必要があります。

皆様からのご寄附が、子育てしやすく充実した教育環境をつくり、子どもの未来を守り育てる貴重な財源となります。



※AIで作成したイメージ

■メッセージ

子どもの頃にしっかり教育を受けることで、将来、社会で活躍する大人へと成長します。様々な家庭環境に影響されることなく、平等で充実した教育を受けさせる環境をサポートし、子どもの教育を受ける権利を確実に保障することが社会の責務だと考えています。

今の子どもたちを応援することで、未来を支える子ども達やその家族が、希望を持ち、笑顔で暮らせる社会の実現を目指していきます。企業の皆様と行政が一体となって子どもたちの未来と可能性を共に広げていきましょう。